

在宅医療は 健幸医療

長尾 和宏

医療法人社団裕和会・理事長
長尾クリニック・院長



今回は札幌市に在住する
63歳の男性からの質問です。



今年の6月、NHKで「彼女は安楽死を選んだ」という番組を視聴した時、妙な違和感を感じていたのですが、10月25日の再放送で私が6月に感じた違和感が何だったのか、はつきりいたしました。

公共放送と謳い受信料を取っているNHKがなぜ民放と同じような、安易で衝撃的な内容だけが目立つ視聴率稼ぎのような番組を放送するのか、と感じていたのはもちろんですが、画面に尊厳死がまるで安楽死の中の一つのよう表現で「消極的安楽死」と映し出されていたからです(表現の問題なので、人によって捉え方が異なることはわかっています)。

未だ尊厳死がどういふものか世間ではまだまだ知られていないのにもかかわらず、何を意図してNHKがあの番組を制作、放送したのか。尊厳死と安楽死は別のものと考え、一刻も早い尊厳死の法整備を望んでいる私は、甚だ疑問と憤りを感じております。

ぜひこの機会に、尊厳死と安楽死の違い、リビングウィルの存在などを多くの方に改めてお伝えしていただければ幸いです。よろしくお願いたします。

お答えします！

素晴らしい質問、ありがとうございます。私とまったく同じですが、あまり

知識がない市民はあの番組を観て「いい番組だ」と思われたかもしれませんが。終末期医療に関心を持つ人が増えるという意味では一定の意義があったかもしれません。しかし私のように在宅医療や終末期

医療、なかでも日本では認められていない尊厳死やリビングウィルに取り組んでいるものからすれば、内容が飛躍しすぎていて唾然としました。

ただ市民を驚かしたいのか。視聴率のためなのか。日本人初の安楽死報道で日本も安楽死できる国に誘導したいのでしょうか。そんな話の前に日本では先進国で唯一リビングウィルが法的担保されていない国、つまり尊厳死すらグレイという国であることを報じるのがNHKの役割かと思えます。

以下、私の違和感を列記してまいります。

1 日本人がスイスに行けば安楽死できるのか？

スイスには3つの安楽死組織があります。NHKの安楽死報道でそこに登録する日本人が急増しています。では日本人がスイスに行けば安楽死できるのか？ そんなことは無い、と私は思います。

そもそも日本人がスイスで安楽死したら殺人罪に問われないのでしょうか？ かなりヤバイ話です。一番重要な国際法については一切触れられませんでした。

かし、です。安楽死・自殺は絶対に良くない。これは自死遺族である私自身の本音です。

8 大いなる偽善

多くの日本人が安楽死に賛成、という調査結果があります。それに迎合したのが、今回の安楽死報道なのでしょいか。私には偽善に映りました。現状との乖離があまりにも大きすぎます。

最後に、12月17日に拙書『小説「安楽死特区」(ブックマン社)が世に出ます。是非、多くの方に読んで頂き、尊厳死と安楽死の議論が深まることを願っています。

2 日本の医師や看護師が登場しない理由は？

彼女は病院に入院されていたようですが、主治医や看護師はどんな緩和ケアをしていたのでしょうか？まさか「はいはい」と安楽死の依頼状を書いたのでしょうか。病院での人生会議はどうだったのか？ 必死で止めた人はいたのか？そこを報道して欲しかった。

数年前から私のクリニックにもスイスへの紹介を希望する方が来られますが丁寧に対応していません。

3 安楽死の基準って？

安楽死の基準を満たしたから安楽死したと報じていましたが、意味不明です。条件のひとつに「耐えがたい苦痛」とありましたがスプリチュアルケアはどうだったのか。臨床宗教師は？ 緩和ケアをやった上での「耐え難い苦痛」であったのでしょうか。もし私が主治医ならば安楽死は体を張ってでも阻止します。精神的苦痛を要件とするのであれば自殺希望者は全員が安楽死になってしまいます。

4 家族は本当に納得していたの？

ご家族は最後の最後まで「本当

にこれでいいのか」と迷っておられた。今でも自問自答しているようだった。本人もあそこまで行き

(断崖絶壁の先端に立たせられながら)、もはや後戻りできない状態に追い込まれていました。NHKのテレビカメラが入ることで後に引けなくなった可能性があれば放送倫理上も問題です。

5 対比で出された50歳の女性に失礼！

なぜか人工呼吸器を装着している同年代の女性も対比的に取材し、わざと苦痛の表情や暗いイメージを強調しているように映されていきました。

しかし、私が在宅で診ている在宅で呼吸器をつけて食べている多系統萎縮症の患者さんは笑っています。少量でも口から食べてお酒も少し飲んでいきます。

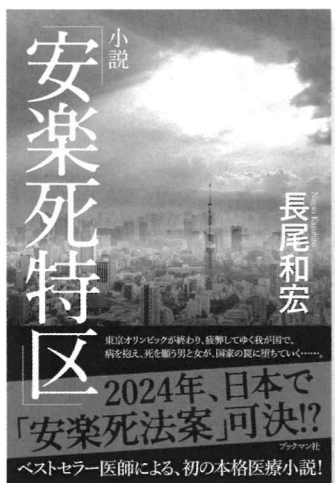
安楽死を美化するために同病の患者さんをわざわざ登場させたのであれば失礼です。

6 ALS協会や障害者団体をなぜ登場させないの？

安楽死とは全く違う自然死・尊厳死にも強く反対しているALS協会ははじめとする障害者団体や

ベストセラー医師による、初の本格医療小説！

小説「安楽死特区」



著者：長尾 和宏
出版社：ブックマン社
価格：1,400円+税

2024年、日本で「安楽死法案」が可決した。東京オリンピックが終わり、疲弊してゆくわが国で、病を抱え死を願う男と女が、国家の裏に落ちてく……。

きらめき⁺プラス
Volunteer

2019 December Vol.81



ゴールは「生きること」

佐藤 良一

元特攻兵の兄弟対談の全貌

遠藤 美幸

『わたし』は『わたし』

中嶋 涼子